



ホストタウンを契機とした千葉県市原市の ニュージーランドとの交流に関する取り組みの加速

(一財)自治体国際化協会シドニー事務所 所長補佐 松本 慎之介 (千葉県市原市派遣)

市原市とニュージーランドの交流の変遷

筆者の派遣元である千葉県市原市では、1984年頃から市民団体を中心にニュージーランド（NZ）との交流が続けられていたことから、2016年には同国の「ホストタウン」（東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、参加国との相互交流を推進する自治体）として登録を行い、さまざまな交流の機会の創出を図ってきました。事前キャンプの誘致を進め、千葉県君津市と連携してNZソフトボール女子代表のトレーニングキャンプを2017年から3年連続で受け入れるなど、スポーツを通じたNZとの国際交流を推進してきました。

また、ホストタウンとしての国際交流を契機として、2020年には、NZの教育に関する政府機関である「エデュケーション・ニュージーランド」と教育交流に関する覚書を締結しました。その後、市原市とNZの学生を対象とした交流事業を進め、2023年8月には、市原市内の中高中生10名の約2週間にわたるNZ留学を支援する「市原市青少年留学支援事業」を初めて実施しました。

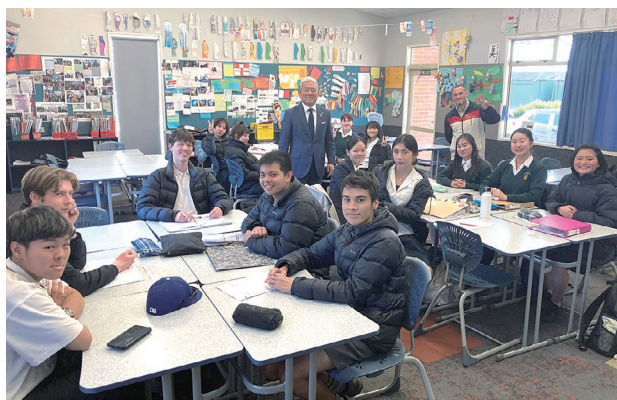
市原市長のニュージーランド訪問

今回、学生が派遣される8月に合わせて、市原市長がNZを訪問し、受け入れ校であるワイメアカレッジへの表敬訪問を行うとともに、NZとの教育・スポーツ分野の交流拡大や国際人材の育成環境の構築、その他の分野への展開の可能性を探るため、さまざまな関係者と面話し意見交換を行いましたので、その一部をご紹介します。

さらなる教育交流に向けて

- ・ワイメアカレッジ…青少年留学支援事業の受け入れ先
ワイメアカレッジは南島タスマン地区（自治体）リッ

チモンドにある中高一貫校で、エデュケーション・ニュージーランドの紹介で青少年留学支援事業の受け入れ先となっていただきました。



ワイメアカレッジの教室にて、現地学生たちとその輪の中につきり溶け込んだ様子の市原市派遣留学生

訪問時には、市原市長からワイメアカレッジの皆様へ、学生を受け入れてくれたことについてのお礼とともに、今回派遣された10名は86名の応募者の中から選考を経て決定されたことが伝えられると、ヒル校長からは、NZ留学に対してそれだけのニーズがあると確認でき大変喜ばしいと、驚きの声が上がりました。将来的にはNZの学生を市原市で受け入れることも検討し、さらなる関係強化に努めたいとの展望を共有することができ



ワイメアカレッジにて撮影（左から、ローパー留学生部長、ヒル校長、小出市原市長、キングタスマン地区首長）

ワイメアカレッジにはタスマン地区首長のティム・キング氏もかけつけてくださり、市原市長からは、「留学支援事業などの市原市の取り組みを首長にしっかりと理

解いただけていることが、派遣留学生の保護者の安心にもつながる」と、感謝の意が伝えられました。キング首長からは、「今回のような取り組みはタスマン地区としても歓迎するところであるので、自治体同士の友好関係の醸成にもつなげられると良い」とのコメントをいただき、今後のさらなる交流が期待される機会となりました。

・ネルソン・マルボロ・インスティテュート・オブ・テクノロジー (NMIT) …高校卒業後の NZ 留学先として

NMIT は 1905 年に NZ に設立された国立の高等専門学校で、幅広い専門分野の職業に直結する実務的な教育を受けることができ、そのメインキャンパスは南島ネルソン市にあります。NMIT では、コースによって大学卒業程度の学位も取得可能であり、市原市では、市の学生の新たな留学先としての可能性を検討しています。



NMIT における意見交換の様子 (左から、ウィル国際推進部長、ケイト エンゲージメントマネージャー、ジョン国際課程学部長)

NMIT における意見交換の場で、市原市長から、「NMIT は市原市青少年留学支援事業に参加した学生が高校卒業後、さらに NZ で学びたい場合の選択肢になると考えているので、今後連携をお願いしたい」という旨を伝えたところ、エンゲージメントマネージャーのケイト氏からは、「NMIT にはさまざまなコースがあり留学生の受け入れも積極的に行っているため、市原市の学生たちと親和性の高い分野なども考慮しながら、是非取り組んでいきたい」とのコメントをいただきました。今回、教育交流として始まった市原市の取り組みが、将来的には、産業人材育成・ビジネス交流といった他分野への展開にもつなげられるのではないかという可能性を感じる場となりました。

・ネルソン市…自治体同士の新たな友好関係の構築

また、ネルソン市滞在時には、ネルソン市長のニック・スミス氏をはじめとする市議会議員の方々との面会の機会をいただきました。両市長を中心にお互いの自治

体の情報交換を行うとともに、「教育交流を契機として自治体同士も連携することでさらなる相乗効果を生み出すことができるよう、今後の友好関係構築に努めたい」という方向性が共有されました。



スミス ネルソン市長と小出市長

スポーツ交流の活性化を目指して

・オークランド・ユナイテッド FC (AUFC) …アカデミーチームの合宿地としての市原市

市原市は、2019 年から AUFC のアカデミーチームの合宿を受け入れており、市原市およびジェフユナイテッド市原・千葉と三者での交流を実施しています。

市原市長から、AUFC に対してこれまでの三者での取り組みに対するお礼とともに、今年度も実施が予定される市原市での合宿について、現地自治体として協力を惜しまない旨が伝えられました。AUFC のハイパフォーマンスディレクター (HPD) であるジョー氏からは、「子どもたちが日本的な食事や文化体験などの交流をして NZ に帰ってくると、その後も継続して日本が好きになり将来的な

交流にもつながる可能性を秘めている」とのコメントをいただき、今後益々の交流活性化を目指す契機となりました。



ジョー HPD と高橋選手兼コーチにご案内いただき、広大な敷地内でさまざまな年代の子どもたちが練習する様子を見学

おわりに

市原市は、今後も教育・スポーツをはじめとするさまざまな分野で NZ に関する事業を推進し、積極的な相互交流機会の創出に取り組んでいこうとしています。今回の訪問の光景が、ホストタウンを契機として国際交流を進めようとする自治体や、新型コロナウイルス感染症の影響で中断していた活動の再活発化に取り組もうとしている自治体の参考になることを願っています。